

# ケーブルテレビ事業における 5Gへの取り組みについて

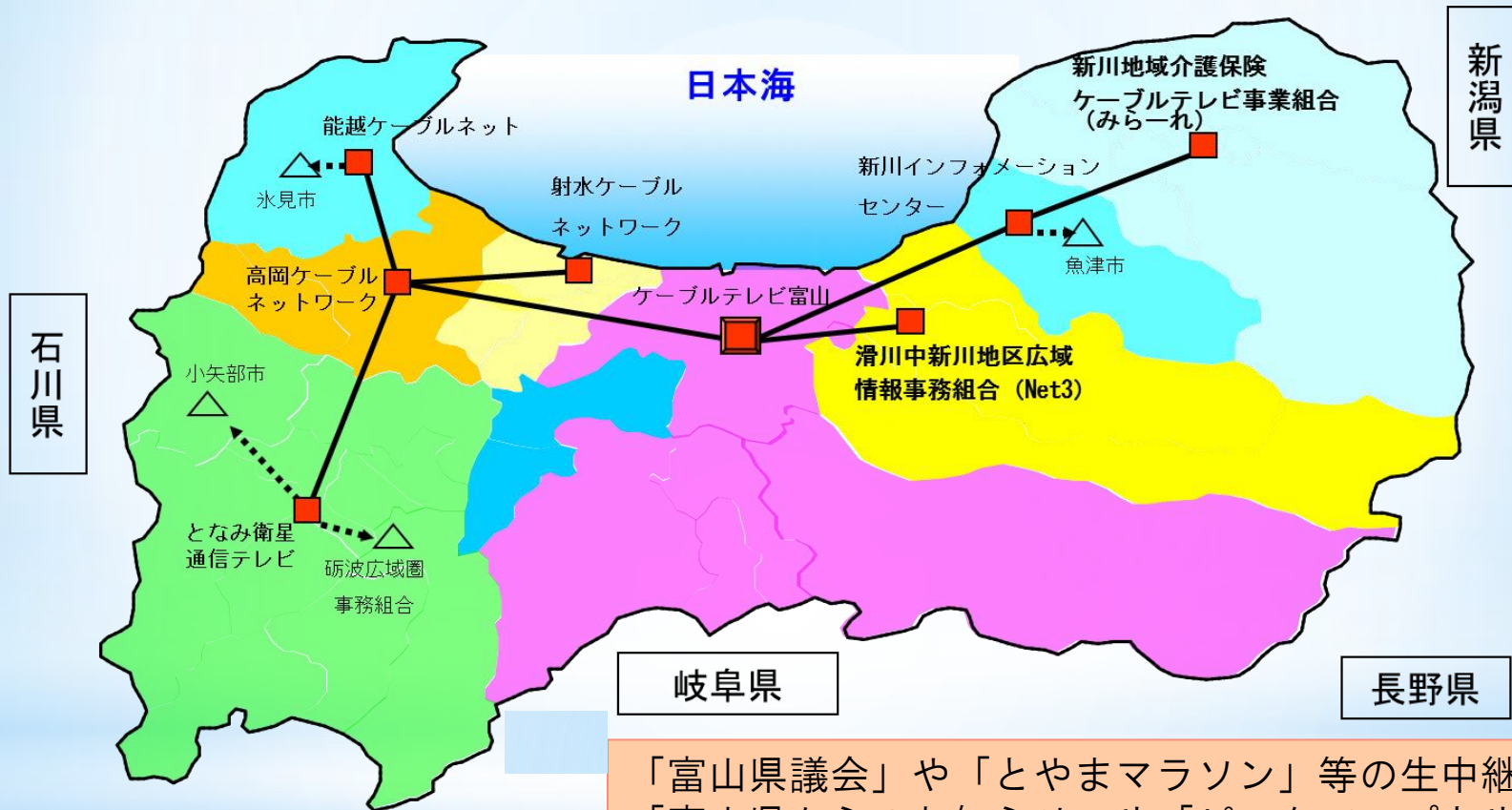
**TCTA**

一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会

2019年 5月10日

# 1.一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会のご紹介

富山県内にあるケーブルテレビ事業者のうち、8局が加盟する団体



いきいきネットとやまでもって  
各局をネットワークで接続

「富山県議会」や「とやまマラソン」等の生中継、  
「富山県からのお知らせ」や「ピックアップとやま」  
等の番組制作などを全県で取り組む

## 2. ケーブルテレビ事業者の無線の取り組みについて

- ・ 県内100% をカバーするケーブルテレビエリアで、県内 世帯の約70% に接続
- ・ 地上有線インフラは、同軸から光化 を推進中
- ・ 20年以上に渡り各局が維持管理する 確固たる有線インフラ に、これからの時代にマッチする 無線インフラを追加 して、より便利なサービスを立体的に創出

### 【無線サービスの取り組み例】

#### ○TOYAMA Free Wi-Fi

- ・ TOYAMA Free Wi-Fi整備推進協議会の認定事業者として北陸新幹線開業と同時にサービス開始
- ・ 県内で約90ヶ所260AP（アクセスポイント）を整備

#### ○地域BWAサービス

- ・ 市区町村だけに割り振られる電波帯域を利用した高速無線通信網
- ・ 県内4局がサービス中
- ・ 5G免許取得のステップ

#### ○ケーブルスマホ

- ・ 県内6局がサービス中
- ・ わかりやすい料金と、地域に密着したサポートにより好評を得ている

### 3.業界団体での5Gへの取り組みについて

ケーブルテレビ事業の業界団体である「(一社)日本ケーブルテレビ連盟」や「(一社)日本ケーブルラボ」でも5Gに対する取り組みや研究を進めている。

#### 【業界団体が5Gに取り組む意義】

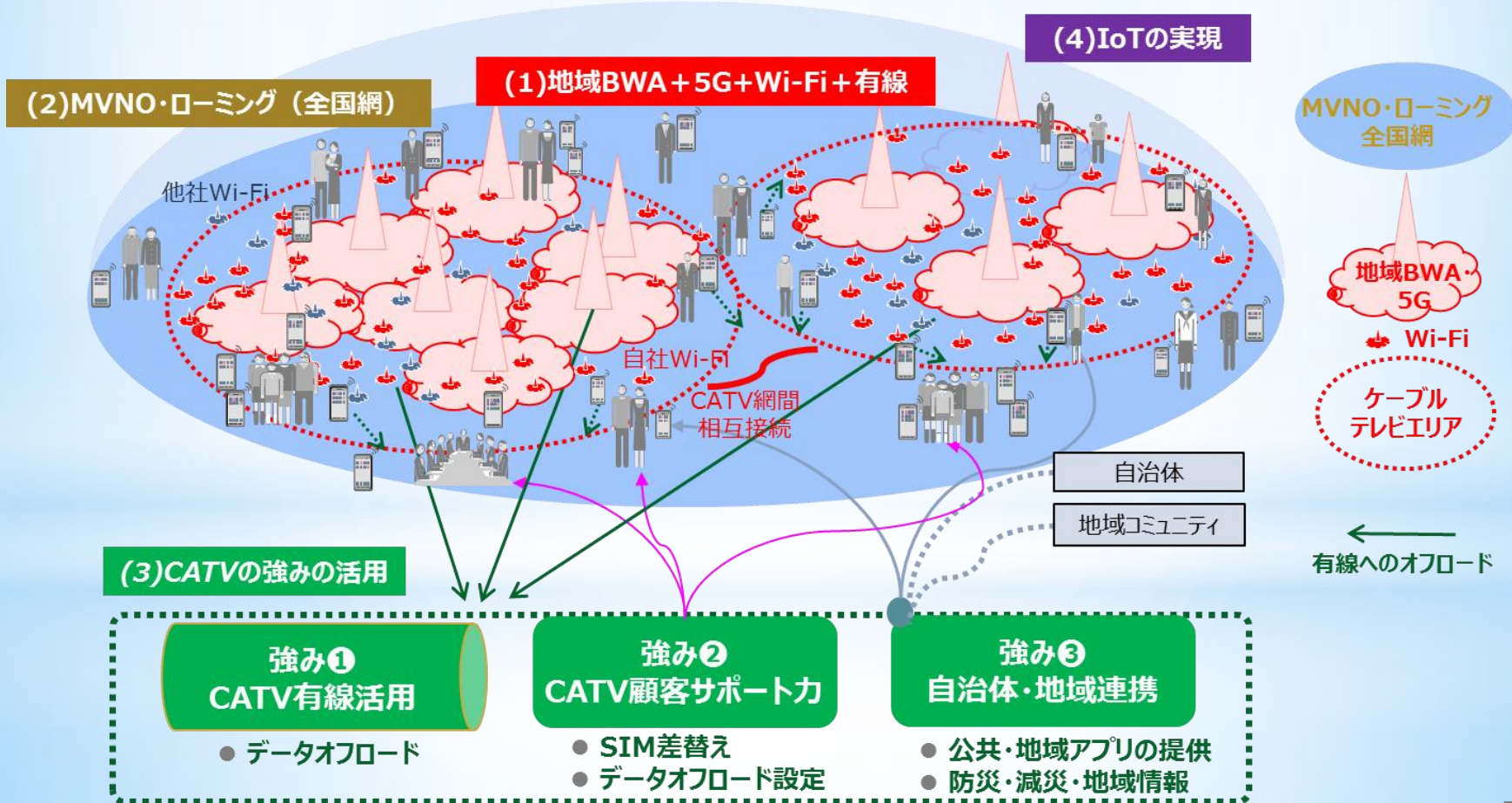
- ケーブルテレビ事業にとり、有線と無線の融合は必須であり、地域BWAから始まった自前の無線ネットワークは5Gの時代にはさらに重要となる。
- Comcast等米国の事業者では5Gを引き込み線の代替とする動きが活発になってきており、世界規模で見ても有線と無線の融合が進んできている。
- 5Gは、今後の地域ニーズへの対応や社会課題の解決に貢献し、真の地方創生の実現につながるものであり、地域と密接な関係を構築しているケーブルテレビ事業者にとり重要なインフラとなるものである。

**現在、業界を上げて  
連盟の無線利活用委員会などで  
5Gのユースケースを検討中**

# 4. ケーブルテレビを利用した5Gへの取り組みイメージ

「地域生活を守り」・「競争優位性をもつ」有線・無線融合サービスの提供

- (1) 地域BWA + 5G + Wi-Fi + CATV有線によりCATV業務エリア内は自前の有線無線融合地域網を構築 +
- (2) MVNO・ローミングによりCATV業務エリア外は全国どこでもつながる無線網をMNOから調達 +
- (3) CATVの強みを活用し「有線へのオフロード」+「顧客サポート」+「自治体・地域連携」で差別化 +
- (4) センサーネットワークやクラウドPF等を活用しIoT網を実現

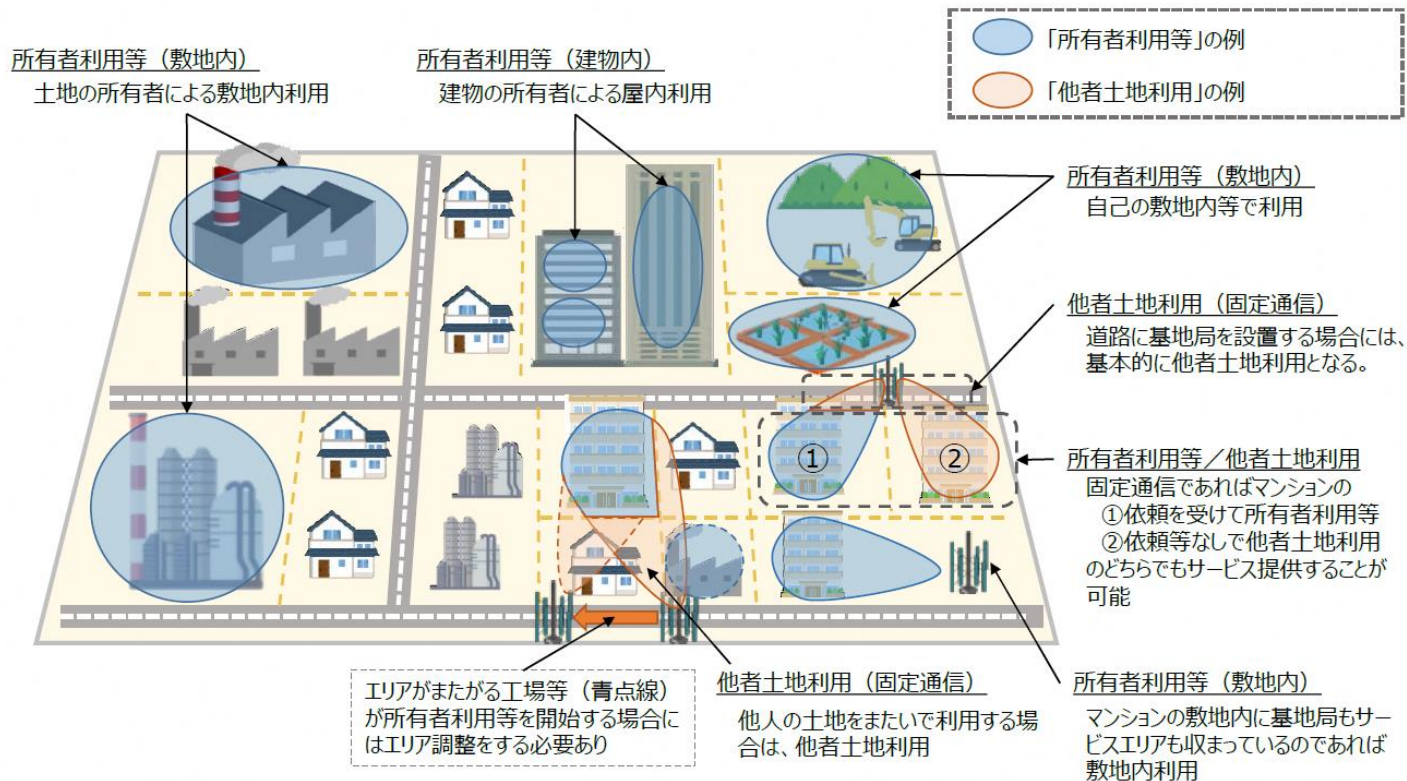


# 5.ローカル5Gへの取り組み

## ローカル5Gの利用イメージ

7

『所有者利用等』及び『他者土地利用』の利用イメージは以下の通り。



出典：新世代モバイル通信システム委員会

今年10月から始まるローカル5Gの免許にも積極的に対応していきます。